

昭和10年の大水害 看板除幕式 実施報告

- ・利根川水系砂防事務所の設立の契機となりました昭和10年の大水害を次世代に伝承していくことを目的として当時の事務所跡地(安中市)近くの緑地に看板を設置しました。
- ・今回、看板設置にあたり、除幕式を実施しました。



【来賓挨拶・事業者挨拶等】



茂木 安中市長 挨拶



田村 利根川水系砂防事務所長 式辞

【開催概要】

- ・ 開催日時
平成30年9月28日(金) 15時00分～15時30分
- ・ 開催場所
群馬県安中市 城下緑地
- ・ 出席者
安中市長、県議会議員、市議会議員、行政関係者、区長、砂防ボランティア

【式典概要】

- ・ 概要説明
- ・ 来賓祝辞
- ・ 看板除幕

内務省東京土木出張所鳥川砂防事務所 位置図
1946/6/14撮影 (国土地理院地図・航空写真閲覧サービスより)

内務省東京土木出張所鳥川砂防事務所 (昭和11年竣工当時)

昭和10年災害状況(白根郡礼山寺付近)

安中市 国土交通省利根川水系砂防事務所

昭和10年(1935年)の大水害

昭和10年9月下旬、8月から雨の日が多く9月に入ると晴れる日がほとんどありませんでした。9月24日、台風の影響により雨はさらに強まり、26日夕方まで豪雨が続き、利根川上流域で降った雨水は鳥川流域に集中し、旧倉洲村では2日間の雨量が402.5ミリに達しました。

この大雨で利根川流域の各地では、数多くの土石流などが発生しました。なかでも九十九川や秋間川、後閑川、増田川の被害は群馬県の中でも最も激しく、旧松井田町内では一つの橋(旭橋)を除いてすべての橋が流されてしまいました。

この大雨で、亡くなられたり、行方不明になった人が60名、重いケガなどを負った人が35名、壊れたり流されてしまった家が114戸、半分程度壊れた家が768戸、浸水した家が884戸になるなどの大災害となりました。

この昭和10年の台風による水害をきっかけに、国土交通省利根川水系砂防事務所(現在の渋川市)の前身となる内務省東京土木出張所鳥川砂防事務所が安中市に開設され、直接国の管理で砂防工事が開始されることとなりました。

「昭和十年群馬県風水害誌」より一部抜粋